

THE Voice

JCI IIZUKA NEWS
2026 JANUARY

Vol. 71



歴史を礎に新たな未来を彩る

TOPICS

2025年度理事長総括／2025年度活動報告[例会委員会／総務渉外委員会／ビジョナリー委員会／会員拡大委員会]
2026年度理事長所信／2026年度委員会組織図／委員会紹介／年間スケジュール／メンバー紹介

2025年度 第72代理事長総括

一般社団法人飯塚青年会議所

2025年度 第72代 理事長

小林 奈々

NANA KOBAYASHI



Action!
-仲間と共に-

事業計画

- JCの魅力向上例会の企画・実施
- JCの魅力や価値を伝える
伝道師育成事業の企画・実施
- アカデミー会員(新入会員)による
“若者と地域のつながり”事業の企画・
実施時代に即した組織運営・総会運営
- 台東国際青年商會との継続的な国際交流
- 新春祝賀会、創立記念、忘年会の運営
- 飯塚JC全体で取り組む会員拡大
- 飯塚JC全体で取り組む山笠運営

2025年度も多くの皆様に我々の活動に対し深いご理解と温かいご協力を賜りましたこと、心より厚く御礼申し上げます。昨年度は「Action!」仲間と共に「」をスローガンに掲げ、年間活動をさせていただきました。まさに私自身がこれまで青年会議所で享受した学び、そして先輩諸氏の背中から学んだ姿勢を礎に、仲間と共に活動・運動を展開してまいりました。

台東国際青年商會との国際交流
昨年度は大きく2本の柱で対外事業を展開しました。
一つは姉妹JCであります台東国際青年商會との国際交流です。
これまでの相互交流に留まらず、地域に根差した事業を展開することで、我々が紡いできたこの国際的ネットワークの価値を地域へと広げるべく取り組みを行いました。

具体的には国際ビジネス、とりわけ台湾でのビジネス展開に関心を寄せる2市1町の企業様にご参加いただき台東メンバーに向けたプレゼンテーションを実施いたしました。この事業を通じ、飯塚青年会議所の存在意義を再確認すると同時に、地域に必要とされる団体としての自信にも繋がりました。また、台東メンバーのビジネスを深く知る機会ともなり、交流の質を一段と高めるものになったと確信しております。

この関係性は、時代がどのように変化しようとも強固な友情として今後も深く紡がれていくことでしょう。

創立70周年ビジョンの実現に向けて

もう一つの柱は、2023年度創立70周年の際に策定したビジョンの展開です。2024年度は「地域でこどもを育てスマイルあふれるまち」の展開を行いました。

そして、2025年度は「若者と地域のつながり」というテーマのもと、ビジョン実現へ向けて大きな一歩を踏み出しました。事業構築にあたり、「まち」を主語とした議論を心がけ、我々青年会議所だけでなく地域のステークホルダーの皆様と共に会議を進めることで、より良いまちづくりへの道筋を探求してまいりました。「我々JCにできる事、我々JCにしかできない事」という強みを活かし、多くの若者・地域の企業様、そして行政との連携も図りながら進めることができたこと実感しております。今後この繋がりを土台に「明るい豊かな社会」の実現を目指し歩みを止めることなく前進してまいります。

例会での会員交流と会員開発

年間を通じた例会では、会員交流および会員開発を軸にJCの魅力、そして「ACTIVE(JCメンバー)としての資質を磨くアワー」を実施しました。青年会議所には実に様々なメンバーが存在し、その多様性こそが新たな知識や価値観、そして大きな成長をもたらしてくれれます。毎月与えられるこの成長の機会こそ青年会議所の大きな魅力であると改めて感じております。

会員拡大について

最後に会員拡大はどの年度においても大きなテーマです。

昨年度はメンバーの拡大意識醸成に力を注ぎました。拡大とは単に人数を増やす事ではありません。地域の未来を担うリーダーを増やし「明るい豊かな社会」を実現する為の基盤強化に他なりません。これから拡大を担うメンバー、そして入会を検討されている皆様にはJCの魅力と理念に触れていただき共に未来を切り拓く仲間として歩みを進めていただければ幸いです。

結びに

JCCミッションにある通り、青年会議所には「リーダーシップの開発と成長の機会」が無限に広がっています。どうか傍観者や評論家ではなく、自らアクションを起こし、自らの手でチャンスを掴み取り、我々が住み暮らすこの社会により良い変化をもたらすリーダーになっほしいと心から願っています。
JCで得た経験は必ずや生の財産となるでしょう。アクションを起こした先のまだ見ぬ自分に期待して、Action!仲間と共に。



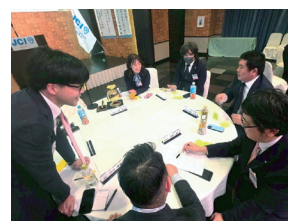
台東国際青年商會との国際交流



会員拡大委員会事業



ビジョナリー委員会事業



例会アワー

2025年度 委員会活動報告

REIKAI COMMITTEE

例会委員会

委員長 遠藤 訓之



今年度例会委員会では、率先して行動する人間になることを目標に掲げ、年間を通して例会の企画・運営に取り組んでまいりました。まずはメンバー一人ひとりが飯塚青年会議所の魅力を再認識することが必要であると考え、1〜7月はメンバー間の交流を深める内容を中心に、事前活動やチームでの取り組みを通じてコミュニケーション向上を図りました。8〜9月はJICのスケールメリットを活かし、テーマに合った講師を招いて会員開発を実施しました。国際的な視点を含む講演もあり、多様な立場から学びを得る貴重な機会となりました。10月例会では「当事者意識」をテーマに、自らが主役であるという認識を持ち、目的を明確にして行動する重要性を共有しました。11月例会では、1年間の活動を全体で振り返り、良かった点・課題点を率直に共有することで、次年度に引き継ぐための「真の振り返り企画」を実施しました。さらに、式典の厳粛さを保つため、先輩方が作成された「飯塚JICプロトコル」を毎月更新し、より良い運営方法を模索し続けました。今後時代や会の状況に合わせた改善と進化を重ねていただければ幸いです。1年間、多大なるご協力とご理解をいただいたメンバーの皆様は、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

SOMU SYOGAI COMMITTEE

総務渉外委員会

委員長 佐藤 涼介



総務渉外委員会は、組織運営の根幹を担う総務業務と、対外的な信頼関係を構築する顔となる理事長の補佐を行う渉外業務の両面において、その責務を全ういたしました。総務業務においては、本年度の組織運営の要となる全4回の総会運営を滞りなく遂行いたしました。また理事会に上程される議案については、その体裁や文章、表現の厳密な校閲を担当しました。渉外業務では、理事長と行動を共にし、各地で開催される重要な式典や事業への参加をサポートいたしました。この活動の裏側では、理事長が滞りなく、かつ最大限の成果を発揮できるよう、徹底した事前準備と環境整備に注力しました。訪問先の情報収集、当日の移動や会場での動線確保に至るまで、万全の態勢で臨みました。そして、本年度の活動のハイライトの一つとして、例会委員会と連携し、創立72周年記念式典の企画・運営を成功させました。この式典は、72年の歴史を振り返り、未来への決意を新たにするとともに、組織にとって非常に記念すべき事業です。記念式典の成功は、組織内外に本会の活発な活動と未来への希望を発信する力強い機会となりました。総務渉外委員会は、目立たないながらも不可欠な縁の下力持ちとしての役割を真摯に果たし、本年度の各事業の成功を支えてまいりました。

VISIONARY COMMITTEE

ビジョナリー委員会

委員長 大谷 翼



2025年度は、「若者と地域のつながり」をテーマに掲げ、地域と大学生、企業、行政をつなぐ実践型プログラム「Youth & Vision」や「Action & Unity」若者の力をこの街に」を実施しました。本プログラムでは、若者ならではの柔軟な発想力と、地域が培ってきた知恵・経験が交わることで、新たな価値創出や課題解決の可能性が生まれました。大学生にとっては、日頃関わることの少ない地域企業や行政、地域住民の方々と交流する機会となり、多様な視点に触れる貴重な学びの場となりました。また、自身のビジネスプランを発表し、地域の実務者や専門家が意見をj受けることで、アイデアを深め、ブラッシュアップする実践的な経験をj得ることができました。地域側にとっても、若者の新たな視点は新しい可能性を示し、まちの未来を考えるうえで大きな刺激となつています。今後も、若者と地域が互いに成長し合ひながら未来を共にデザインしていく場づくりを進めてまいります。

KAIINKAKUDAI COMMITTEE

会員拡大委員会

委員長 井上 詠貴



今年度の会員拡大委員会では、今年のスローガンである「Action」仲間と共に」のもと、全メンバーに対して会員拡大の意識をもってもらい、飯塚JIC全体で取り組む会員拡大を実現したいという想いで1年間邁進して参りました。その中で3月に実施した事業「Action & Unity」拡大の輪を広げる伝道師育成事業」では、メンバーが飯塚JICの拡大の現状や渋谷君の講演、飯塚JICの魅力や入会する価値を考えるグループディスカッションに真剣に取り組んでいる姿に感無量でした。当日に向けての準備や委員会内での打ち合わせなど至らぬ点も多々ありましたが、皆様のご協力もあり、無事に事業を実施することができ、飯塚JICメンバーの素晴らしい底力を改めて実感しました。共に飯塚JIC活動や事業を通して、企画・運営の喜びや不安を分かち合うことのできる本当の仲間がいる、本気で地域により良い変化をもたらすために日夜真剣に語り合える仲間がいる、それが飯塚JICの魅力であり、入会する価値がある団体であると感じました。最後になりますが、頼りない面も多かった中で1年間委員長としての職を全うできたのは、委員会メンバーはもちろんのこと、飯塚JIC全メンバーのおかげです。心より感謝申し上げます。



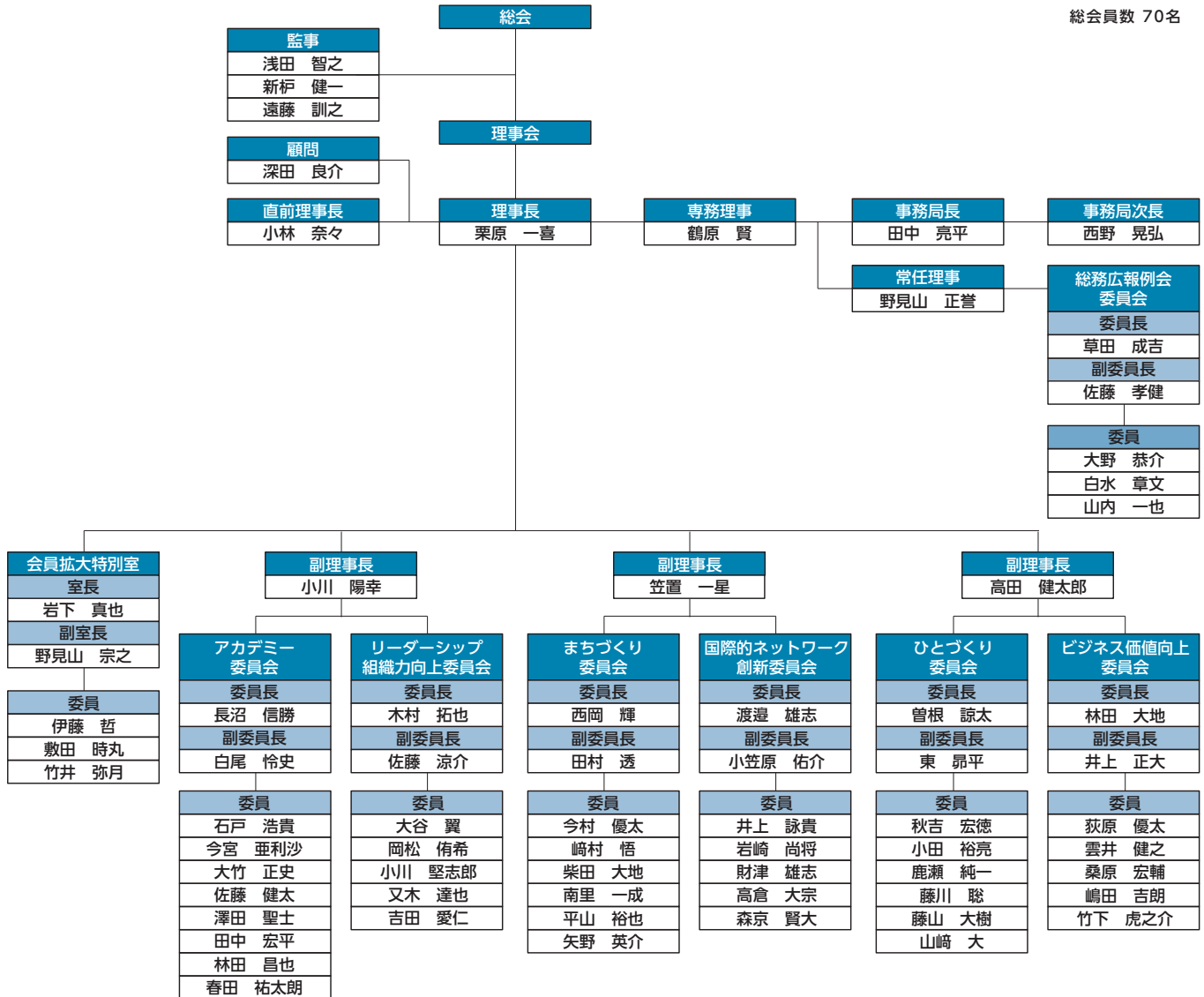
栗原 一喜

THE VOICE 03

ORGANIZATIONAL CHART

2026年度組織図

総会員数 70名



2026年度 出向者

公益社団法人日本青年会議所

【地域グループ】

会務担当常任理事 深田 良介

スポーツ人財育成委員会

大谷 翼

大野 恭介

【組織グループ】

LOM開発委員会

今村 優太

JCプログラム推進委員会

西野 晃弘

【総務グループ】

総務委員会

伊藤 哲

大竹 正史

小川 堅志郎

鹿瀬 純一

桑原 宏輔

嶋田 吉朗

野見山 宗之

財政審査会議

佐藤 涼介

野見山 正誉

【国際グループ】

国際ビジネス推進委員会

井上 詠貴

渡邊 雄志

福岡ブロック協議会

【LOM連携グループ】

LOM支援委員会

委員長 今村 優太

遠藤 訓之

佐藤 涼介

鹿瀬 純一

山内 一也

【アカデミーグループ】

アカデミー委員会

東 昂平

井上 正大

岩崎 尚将

小笠原 佑介

小川 堅志郎

財津 雄志

竹井 弥月

南里 一成

又木 達也



会員拡大特別室

挑戦、仲間と楽しみ、
未来を切り拓く。

室長

岩下 真也

基本方針



アカデミー 委員会

メリハリ!! やるときゃやる。
休むときゃ休む。

委員長

長沼 信勝

基本方針



リーダーシップ 組織力向上委員会

人とひとの付き合いを
大事にする委員会!

委員長

木村 拓也

基本方針



まちづくり 委員会

一人ひとりが主役、
メンバー全員で未来へ挑戦!!

委員長

西岡 輝

基本方針



国際的ネットワーク 創新委員会

みんなで創る、みんなで決める、
みんなで支える。

委員長

渡邊 雄志

基本方針



ひとづくり 委員会

仕事に遊びにJCに
家族に全てに全力。全力成長!!

委員長

曽根 諒太

基本方針



ビジネス価値 向上委員会

君は次年度の
委員長候補だ!

委員長

林田 大地

基本方針



総務広報例会 委員会

一人ひとりがJCの顔、
全員で伝道師に。

委員長

草田 成吉

基本方針



JCによくある質問を2025年度卒業生に答えてもらいました

飯塚JC卒業生 突撃取材!!



Q

会社を立ち上げたばかりですが入会できますか？

はい！できます。会社を立ち上げたばかりでも、両立して活躍しているメンバーも多く在籍しています。

A



小林 奈々

Q

会社が飯塚ではないのですが、入会は可能ですか？

入会は可能です。家が会社が2市1町であれば入会できますよ！現在の飯塚JCにも同じような境遇のメンバーが多くいるので心配いりません。

A



古谷 和雅

Q

公務員（市役所・消防署・警察署の職員など）でも入会できますか？

青年会議所は個人の意思によって入会する団体であり、市役所・消防署・警察署などの公務員であっても、個人としての資格で入会できます。また、公務員には職務上の制約があるため、青年会議所活動が業務に支障をきたさないか、または公務員倫理に抵触しないかを事前に確認することが重要です。公務員の方であってもJCに入会することで、仕事に活かせることも多々あると思います。

A



吉原 正和

Q

人見知りで集団行動が苦手なため自分には合わないのではないですか？

私も当初は集団行動や人付き合いが苦手でしたが、どのメンバーも温かく接してくれるので集団行動が苦手でも何も心配ないですよ！苦手だった方も逆に得意になる可能性も十分に秘めている組織です！

A



國本洋規重

Q

家庭・仕事・JCの両立できる自信がありません。

みんな最初から両立できたわけじゃありません。入会后、どうやったらできるか考え、家庭・仕事・JCの時間の使い方などを工夫しながらやってたら、いつのまにかできるように成長しています。時間管理が苦手な方こそ入会をオススメします！

A



山上 諒

Q

仕事が忙しいため会議等の参加が難しいため、入会しても迷惑をかけそうです。

会議等の参加は、可能な時に参加していただければ大丈夫です。特に、平日の夜の参加が難しい飲食店経営者やサラリーマンの方などはそのように対応しています。ご自身のできる範囲の活動を目的に沿った形で無理なく活動できる組織です。

A



久保 勝志

Q

お金がかかる団体というイメージがあり、金銭面で不安です。

それなりにお金はかかります。(会費:10,000円/月など)特に、役職につけば、その分会費以外の出費が増えることもあります。しかしながら、40歳までの限られたJC活動の時間の中で、横の深い繋がりが増え、一生のお付き合いが生まれます。そこに費やしたお金や時間は、巡り巡って「仕事」や「生活の豊かさ」に繋がっていくことは間違いないと実感しています。

A



宗 和彦

PROJECT HISTORY

ひびく

HUMAN DEVELOPMENT



2017年 わんLIFE

「命の大切さから育む責任感」

青少年（小学校4年生）に向けて、「命の大切さから育む責任感」をテーマとして掲げ、事業を実施しました。心の授業ということで大変難しいテーマではありませんでしたが、この授業は読み書きだけでは学べないような事業構築をしていき、動物の命（奪われる命）についての課題に取り組みました。殺処分現状を学び、福岡県では前例のない学校主体としての保健所見学を行いました。過去に犬たちが処分されていた場所を子ども達が歩き、保護されている犬達を見ました。

何を学べたのかを振り返りました。また、日本レスキュー協会では、殺処分の順番を待っていた犬の龍馬にきてもらい、子ども達はふれあいや災害救助体験を受けました。最終の交流会にて保護者の方と受けてきた授業を振り返り共有・共感していただき、4回に渡る事業を終えた子ども達は、今までは違う感情・行動・発言すべて大きな進化を成し遂げた結果、近い将来この子ども達がこの地域に必ず必要な担い手へと変わってくれることを信じています。



2024年

ふるさと桂川プロジェクト

「桂川っ子の力で」

いつまでも続く桂川町に」

サステナブル桂川創造委員会では、将来、桂川町のあらゆる課題を解決していく若者を増やすために、中学生のシビックプ

ライド（IIまちを好きだけでなく、よりよくしたいと思う気持ち）を育む事業をおこないました。桂川中学校3年生の総合の授業時間を使って、「王塚古墳に普段から人が来るためには？」を題材として、課題解決をおこないました。事前活動として、原因の調査、解決方法プレゼン資料の作成、解決の実施を行いました。メイン事業としては、10月の王塚古墳祭りにてブースを出展し活動の過程及び解決物の紹介を中学生目々が来場者に説明しました。2日間で500名を超える方に来場して頂くことができました。最後に、成功体験の締めくくりに、振り返りの会として、桂川中学校にて第3者からの評価を得る機会を設け、締めくくりました。



例会

MONTHLY MEETING

2016年 公開例会

「でっかいご縁」

2016年6月の例会では、テーマを「ご縁」としました。ご縁というものは一人では成立しません。青年会議所でのご縁はもろろんのこと、会社や家族や友人とのご縁があつてこそ成立するもので在ると考え、全国各地にて講演活動を行い、また離農の進んだ北海道の農地を借り、都会で引きこもりやニートと呼ばれる若者たちと一緒に農業を行う「耕せにっぽん活動」を行うなど、人材育成の分野で全国に於いて幅広く活躍をされている中村文昭氏を講師としてお招きし、「でっかいご縁」と題してご講演いただきました。

当日は、人と人との縁の大切さなどについてご講演頂き、多くのメンバーや参加者にもご来場頂けたことで、盛大に開催することができました。

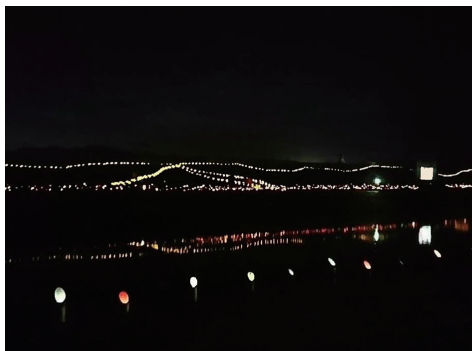
また、参加者より、「大変良かった」「また飯塚に呼んで欲しい」などとお声かけ頂きました事は、飯塚JCメンバーにとっても大きな励みとなり、学びの多い例会のアーワーだったのではないかと思います。



飯塚青年会議所が手掛けた過去の事業

まちづくり

TOWN DEVELOPMENT



2017年 ドーンと嘉麻しちやおうぜ

嘉麻市に注目し、今の嘉麻市に存在する魅力を地元で生活をする人々に再度認識してもらい地元の魅力を誇りと感じて生活できるような事業展開を行いました。地元の祭りで家族や仲間と楽しむ時間を過ごすことによって生まれてくる郷土愛こそが今後のまちの発展へと繋がると信じ日中は子供たちに遠賀川の原水地と称される地元の川が遊び場として認識があるのか、現状綺麗と感じるのか、川に触れ遊びを通じて感じてもらいました。夜間

は嘉麻市の誇りとなる日本山岳遺産に認定された嘉麻アルプスをデザインした灯明を作成しフィナーレに花火大会を行い多くの人達に有効活用されてなかった場所に来場していただき灯明や嘉麻市の魅力をPR動画で伝え今後のまちの発展の可能性を示すことに繋がる事業が出来ました。



2019年 New possibilities 〈新たな可能性〉

嘉麻市・飯塚市・桂川町の自然環境と地域の魅力を発信するために参加者500名を超えるサイクリングイベント「ツール・ド・KAMA2019」を開催しました。また、同時開催として3歳児から5歳児までのお子さまが順位を競い合う「ツ

ニングバイク選手権」・自転車関連の展示販売や試乗、また地域企業や自衛隊、警察、消防などの関係車両の展示による「サイクルエキスポ」といった自転車関連によるまち興しは、お子さまから、お年寄りの幅広い世代の方々からの参加をいただくことが出来ました。



国際

INTERNATIONAL

2016年 ニコニコJCカップ 国際女子テニス大会

地域活性化を図るうえで「テニスの町」という特色意識を底上げする。」を目標に国際女子テニス大会を開催しました。その中でテニス協会やテニス関係者の方々、協賛企業・外部協力者の協力を得ることが出来た事こそ、目標を少しでも理解していただけました。また、ウェブ・YAHOOニュース・新聞・フリーペーパーなどの広報や国内外選手からのエントリー、その選手達によるブログアップなどからこの飯塚という地名、テニスの施設を含めた環境、そして飯塚JCの価値を発信する事が出来たと共に特色意識を底上げする事が出来たのでは無いかとも感じました。1週間という長丁場な開催運営、それまでの準備、更には悪天候と本当に様々な問題がりましたが、飯塚JCメンバーや多くの関係者の方々のお陰で、テニス大会を開催し、成功することができました。そのかいあって行政もテニスに関する様々な改善やご協力をしていただけるようになりました。

この事業を通し地域活性に繋げる為のスタートができたのではないかと感じる事ができた事業でした。



京都会議・福岡ブロック大会・ASPAC・サマーコンファレンス・九州コンファレンス・FUKUOKAコンファレンス・全国大会・世界会議

01

京都会議

京都会議とは、毎年1月に公益社団法人日本青年会議所(日本JC)が開催する



新年度のスタートを象徴する会議のことです。1966年のJCI世界会議を契機として始まり、全国から約2万人のメンバーが集まり、1年間の活動方針を共有し、組織全体の方針決定が行われます。通常総会、理事会、フォーラム、会頭所信演説など多彩なプログラムで構成されています。

02

福岡ブロック大会

福岡ブロック大会とは、福岡県内の全22青年会議所のメンバーが集まり、地域課題の解決や運動の発信、会員同士の交流を目的として開催される、福岡ブロック協議会最大の事業です。単なる会議ではなく、地域住民にも向けた事業も含まれており、福岡県の活性化や将来に向けた運動を推進する機会となっています。



03

ASPAC

ASPACとは、公益社団法人



日本青年会議所(日本JC)が所属するアジア・太平洋地域の会員が集まる「JCIアジアパシフィックエリア会議(Asia Pacific Area Conference)」の通称です。これは、世界を4つのエリア(アジア・太平洋、北米・ラテンアメリカ、アフリカ、ヨーロッパ)に分けたうちの1つで、4つのエリア会議の中で最も参加人数が多く、大規模な大会です。2025年はモンゴルのウランバートルで開催され、2026年はなんと日本の新潟県で開催が予定されています。

04

サマーコンファレンス

サマーコンファレンスとは、公益社団法人日本青年会議所(日本JC)が主催する、日本JCの1年で最大の運動発信の場となる大規模なイベントです。政治・経済・社会など多様な分野のフォーラムやセミナーが開催され、各界の有識者の話を聞くことができます。また、同時に開催される「サマコンフェス」では、地域課題の解決に向けた体験型コンテンツや、家族で楽しめるイベントも行われます。2025年は神奈川県横浜市のパシフィコ横浜で開催されました。



05

九州コンファレンス

九州コンファレンスとは、公益社団法人日本青年会議所九州地区協議会が主催する、九州地区の青年会議所(JC)メンバーと市民を対象にした年1回の会議(大会)です。九州地区内の運動の成果を共有し発信する目的で開催され、運動意識の向上や地域課題の解決を目指しています。2025年は宮崎県の延岡市で開催されました。2026年は大分県中津市で開催が予定されています。



06

FUKUOKAコンファレンス

FUKUOKAコンファレンスとは、福岡県内の青年会議所が集まり、活動の成果を共有し、未来に向けた課題解決やメンバーの成長を目的とする会議(大会)のことです。これは「福岡ブロック協議会」が主催する年次の集大成となる事業で、各地域の課題解決に向けたフォーラムや、ビジネス機会を最大化するビジネスマッチング、事業の成果を競うアワードなど、様々なプログラムで構成されています。



07

全国大会

全国大会とは、公益社団法人日本青年会議所(日本JC)の会員が日本各地から集まり、地域や社会をより良くするための活動意識を高める年1回の大会です。会員同士の交流、成功事例の共有、スキルアップの機会を提供し、1年の運動の検証と次年度への継承を目的としています。2025年は佐賀県で開催され、2026年は兵庫県神戸市で開催が予定されています。



08

世界会議

世界会議とは、公益社団法人国際青年会議所(JCI)が年に一度開催する、世界中の青年会議所メンバーが集まる国際会議です。会議では、青年経営者などが集まり、重要な決定を行う総会や、社会課題について議論するフォーラム・セミナー、各国メンバーとの交流会やイベントが行われます。目的は、国際青年会議所としての諸会議を行うとともに、会員の資質向上や国際的な友情を育むことです。2025年はチュニジアのチュニスで開催され、2026年はフィリピンのクラークにて開催が予定されています。



「JCI」は国際青年会議所(Junior Chamber International)のことで、公益社団法人日本青年会議所は、そのJCIに加盟している日本の国家青年会議所です。したがって、JCIは世界的な組織、日本JCはその中の日本における組織、さらに全国各地にJCIに加盟するローカル組織である各地青年会議所(LOM)があります。

年間スケジュール

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
通常総会 京都会議 新春祝賀会			会員拡大特別室事業(仮)	ビジネス価値向上委員会公開例会(仮)	ASPAC(日本/新潟) 福岡ブロック大会(久留米)	サマーコンファレンス 創立記念式典	九州コンファレンス(大分/中津)	FUKUOKAコンファレンス ひとづくり委員会事業(仮) 国際的ネットワーク創新委員会事業(仮) まちづくり委員会事業(仮)	アカデミー委員会事業(仮) 全国大会(兵庫/神戸)	忘年会 通常総会 世界会議(フィリピン/クラーク)	

例会(1月~11月) ※月1回開催

各種会議・大会に参加したメンバーの声



白尾 怜史

京都会議に参加

2025年に初めて京都会議に参加しました。まず驚いたのが、全国からたくさんのJCメンバーが来ていたことです。改めてJCのスケールの大きさを感じました。そして会頭所信演説では会頭の熱い想いを聴き、これからの活動や運動、地域社会にこれまで以上に貢献しなければと感じました。



野見山 宗之

ASPACに参加

2025年度ASPACモンゴル大会に参加し、世界中のJCメンバーと交流いたしました。言語や文化は異なれど、同じ志を持つ仲間が世界にいと実感し、深く感動いたしました。今回は初めての国際舞台への参加でしたが、JCのネットワークの強さを実感し、大変勉強になりました。



佐藤 涼介

世界会議に参加

世界会議は世界中から何千人ものJCメンバーが集うプログラムです。本年はチュニジアの首都チュニスの地で開催されました。5日間に及ぶプログラムは単なるイベントではなく、リーダーシップの可能性を呼び覚まし、グローバルなネットワークを広げ、新たな自分を発見し、イノベーションと文化、そして祝祭を心ゆくまで満喫できる、特別な変革の起点となるものでした。知らない場所へ行き、知らないものを見て、知らないものを食べ、そして知らない人と話す。すべてが貴重な体験となりました。

トライ・フォース・ビジョン

TRY・4・VISION

とは？



詳細はコチラ▼



TRY・4・VISIONとは、飯塚青年会議所（2023年 担当者 伊藤 哲）を筆頭に飯塚市、嘉麻市、桂川町の方々と共同で考えたまちの中期ビジョンです。2024年～2028年までの5年間で取り組む4つの中期ビジョンを表しています。現在、飯塚青年会議所はこのビジョンに向かって、活動や運動を行っております。4つの中期ビジョンは下記の通りです。

何とかなるまち 何とかするまち

「〇〇すべき、●●しなければならない」
という考え方に縛られるのではなく、
心の余裕のある大人達が多い地域になっている。
誰でも住み暮らしやすいまちになっている。

2026年 担当
長沼 信勝

2026



TRY・4・VISION

飯塚市 嘉麻市 桂川町 の

2市1町で取り組む
まちの中期ビジョン

2024～2028年

地域でこどもを育て スマイリーあふれるまち

地域のこども達が未来に向けて
夢を描けるような豊かな心を育てている。
子育て世代にとっても安心して
子育てを行えるまちになっている状態。

2024年 担当 小林 奈々



2024

トライ・フォース・ビジョン ビジョンの目指す未来

まちの文化を増やす

～既存のものも新しいものも～

地域の既存の文化がより活性化し、
また新しい文化の開発が進んでいる状態。
地域外からの観光客が増え、
この地域の交流人口が増加し、
このまちに多様な考え方や価値観が取り込まれる。

Coming Soon!!



若者と地域のつながり

このまちで住み暮らす若者と
地域との交流が行われており、若者が持つ
価値観やトレンドをこのまちに反映し、
若者が移住し住み
暮らしやすいまちになっている。

2025年 担当 大谷 翼



2025

Jc Aizuka CLUB ACTIVITIES

一般社団法人飯塚青年会議所 2026年度 部活紹介



野球部

監督:笠置 一星

野球部では経験者だけでなく野球を経験したことのない未経験者も含めて現在22名程在籍しております。LOMメンバーだけではなく野球を通じて他LOMの方々と交流を深めることもできます。2026年度も最高なチームを作り上げていきたいのでメンバー大募集しております!!是非、入部して頂いて第二の青春の汗を共に流していきましょう!!



じゃがいもクラブ(ゴルフ部)

会長:石戸 浩貴

じゃがいもクラブは、ゴルフというスポーツを通じて現役会員とOB会員との交流を深めることを目的に活動しています。ゴルフのプレーだけでなく、その後の懇親会も含めて企画・運営を行い、より強い絆を築ける場を提供しています。また、各地の青年会議所の皆さまと競技ゴルフを行う機会もあり、腕に自信のある方にも挑戦いただける環境を整えています。ぜひ積極的にご参加ください。



飯塚青松会(茶道部)

会長:高倉 大宗

飯塚青松会は2016年に発会し、本年度10周年の節目の年を迎えます。茶道を通じ青年経済人としての礼儀や姿勢・作法を学び、初釜、花見茶会、茶碗作りや毎月のお稽古など活動を行っております。飯塚青年会議所OBの方もメンバーとして活動しております。本年度は10周年記念事業を開催予定なので、多くのメンバーで盛り上げて行きたいです。



サッカー部

監督:浅田 智之 キャプテン:井上 詠貴

サッカー部は経験者だけでなく、未経験の方も多く在籍しています!サッカーというスポーツを通じて楽しみながら交流を深め、活動しております!また、チームには現役だけでなく卒業された先輩方も多くいるため、コミュニティの一つとしても魅力的です!大会成績としては福岡大会や九州地区大会では優勝経験もあり、最高のチームです!サッカー部では、サッカー経験者、未経験者でも大歓迎です!このあなた!一緒にサッカーやりましょう!

MEMBERS



嶋田 吉朗

学校法人嶋田学園
2024年7月入会



西野 晃弘

(医)ユーアイ西野病院
2022年12月入会



山崎 太

(有)きど葬祭
2022年4月入会



矢野 英介

中華そば麺すけ
2021年11月入会

不動産業



吉田 愛仁

(株)JIN
2023年3月入会

農業

サービス業・その他



今村 優太

(有)やしま不動産
2020年10月入会

製造業



岡松 侑希

(株)みゆき
ストロベリーファーム
2023年3月入会



岩崎 尚将

(株)エレコス
2025年7月入会



荻原 優太

(株)Step
2023年12月入会



浅田 智之

ダイワ印刷(株)
2012年7月入会

飲食サービス業



木村 拓也

T.K Garage
2022年11月入会



草田 成吉

(株)キョーワ
ホールディングス
2020年4月入会



財津 雄志

志のめ
2025年10月入会



秋吉 宏徳

鮎処 のり助
2023年8月入会



佐藤 孝健

2023年3月入会



野見山 宗之

(株)ティーエス企画
2024年11月入会



林田 大地

林田コンクリート工業(株)
2023年3月入会



今宮 亜利沙

ふわこっぺ福岡飯塚店
2026年1月入会



曾根 諒太

福岡県議会議員
江藤秀之事務所
2021年8月入会

医療・福祉

電気・ガス・水道



大野 恭介

CLUB ELFIN
2022年8月入会



竹下 虎之介

(有)日本ダストサービス
2023年9月入会



伊藤 哲

(株)WORKERS CARE
2018年10月入会



鶴原 賢

鶴原液化ガス(株)
2018年7月入会



柴田 大地

肉風俗 裏道
2023年7月入会



田村 透

(有)田村環境開発工業
2024年8月入会



桑原 宏輔

坂本医院
2024年9月入会

生活関連サービス業 娯楽業



白尾 怜史

大野商事(有)
2024年7月入会



深田 良介

(有)深田環境衛生
2014年5月入会



白水 章文

飯塚みらい歯科
2023年8月入会



大竹 正史

LOCA99
2024年4月入会



雲井 健之

台所 クモイ三十五
2023年7月入会



藤川 聡

BoschCarService
藤川自動車(株)
2017年7月入会



高倉 大宗

たかくら整骨院
2023年4月入会



小林 奈々

(株)プリンス興商
2015年9月入会



藤山 大樹

BAR SHIMAUMA
2023年7月入会



山内 一也

(有)ネットワーク
2021年11月入会

COMMITTEE

2026年度 一般社団法人飯塚青年会議所メンバー

建設・建築業



竹井 弥月

(株)フォワード
2025年4月入会



佐藤 健太

佐藤測量設計(株)
2023年12月入会



林田 昌也

(株)昌和運輸
2026年1月入会



東 昂平

昂工業(株)
2025年8月入会



田中 宏平

(株)田中空調設備
2024年7月入会

金融業・保険業

小売業



石戸 浩貴

(有)東和建設
2022年6月入会



長沼 信勝

友栄土木(株)
2024年7月入会



井上 詠貴

ソニー生命保険(株)
2024年6月入会



高田 健太郎

たかた呉服店
2019年11月入会



岩下 真也

(株)イワデン
2022年7月入会



南里 一成

(株)南里住建
2025年9月入会



井上 正大

飯塚信用金庫
本店
2025年4月入会



田中 亮平

(株)片島屋
2019年8月入会



遠藤 訓之

親和電設工業(株)
2014年8月入会



西岡 輝

友信建設(株)
2022年12月入会



鹿瀬 純一

(株)東海エース保険
2021年6月入会



栗原 一喜

(株)久栄
2022年10月入会



小笠原 佑介

九州特種電線(株)
2025年5月入会



野見山 正誉

(有)光邦水道工事店
2023年6月入会



新戸 健一

メットライフ
生命保険(株)
2013年8月入会



佐藤 涼介

(有)佐藤商店
2022年1月入会



小川 陽幸

オガワ設備工業(株)
2022年5月入会



春田 祐太郎

(株)春田建設
2019年4月入会



平山 裕也

(株)福岡銀行
飯塚支店
2023年12月入会



渡邊 雄志

(株)渡邊硝子建材
2023年5月入会



小田 裕亮

(有)明豊舗道
2017年12月入会



森京 賢大

(有)エム・ライン
2024年6月入会



又木 達也

(株)西日本シティ銀行
飯塚支店
2025年8月入会

教育・学習支援



笠置 一星

(有)笠置建工
2020年4月入会

専門・技術 サービス業

輸送業



大谷 翼

(株)LIGACADEMY
2021年5月入会



崎村 悟

ふみな工業(株)
2019年7月入会



小川 堅志郎

小川堅志郎
税理士事務所
2025年7月入会



敷田 時丸

福岡観光バス(株)
2019年8月入会



澤田 聖士

スタートアップ
ポップコーン(株)
2024年4月入会

温故創新

歴史を礎に新たな未来を彩る



Homepage



Facebook



Instagram

彩あふれる新しい未来を
一緒に創新しませんか？

一般社団法人飯塚青年会議所

会員募集中

青年会議所は20歳から40歳までの情熱ある青年の団体です。

「明るい豊かな社会」の実現を目指す青年会議所運動の基本の一つには、地域の産業を担う青年経済人が人的ネットワークを広げ、さらには青年会議所の各種事業を通じて切磋琢磨し、厳しい経済情勢のなかにあっても力強いリーダーシップを発揮できる“人財”を“開発”することにあります。「一人でも多くの、志を高く持つ仲間に出会いたい!」との一念で会員拡大事業に取り組んでおります。メンバー一同、共に夢を語り合える仲間として、青年会議所の扉を開いて頂けることをお待ちしております。

対象者：飯塚市、嘉麻市、桂川町に住所または勤務地を有する20歳から37歳までの方。
詳しくは下記一般社団法人飯塚青年会議所事務局までお問い合わせください。

お問い合わせ先

一般社団法人飯塚青年会議所事務局 〒820-0033 福岡県飯塚市徳前25番地 飯塚卸商協同組合会館2F
TEL 0948-23-0292 FAX 0948-24-3471 E-mail info@iizuka-jc.com <http://www.iizuka-jc.com/>
〈編集：2025年度会員拡大委員会 委員長 井上詠貴〉